



鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成29年春号(60号)

スタッフたちの労苦



ダルク後援会
会長 斎藤幸二

岐阜ダルクには現在三人のフルタイムのスタッフと、パートで働く一人のスタッフがいます。私はダルクでの回復のプログラムについては部外者ですが、それでも近くでスタッフの働きを見ているととても大変な働きであることがよく分かります。

第一に、スタッフの働きは24時間です。休日はあるのですが、メンバーが病気になったり体調が悪くなったりすると病院に連れていかなければなりません。そしていつもメンバーの様子を見守っていなければなりませんし、必要があれば面談もしなければなりません。第二に、その働きには精神的な労苦もあります。順調に回復しているかと思うと再び薬物依存の生活に戻ってしまったり、またダルクでの生活に耐えかねて逃げ出してしまったりするメンバーもいます。こうしたことが頻繁に起きるダルクでの働きは精神的にもとても大変だと思います。労苦が報われない思いをすることも多くあることでしょう。

それでもダルクでの仕事を続けているのは、スタッフ自身もかつて何度も挫折を繰り返しながら、スタッフたちや先輩たちに支えられてきたからであり、そして何よりも自分自身で薬物依存の生活の悲惨さを体験してきたからではないか、と思うのです。ですから失望や挫折にもかかわらず、一人の人の回復のために働き続けることができるのだと思うのです。

私たちにはこうしたスタッフたちの苦労を肩代わりすることはできませんが、スタッフの働きを側面から支えることはできると思います。これからもダルクの大切な働きが多くの人々の祈りと支援によって続けられていくことを願っています。

仲間の体験談

まさひろ。

薬物依存症のまさひろ。です。

僕は、岐阜ダルクにつながって今1年9カ月になりました。去年の10月に週3回アルバイトに行くという提案をもらってハローワークに行きました。

ハローワークでは見つからず、自分の足で運動しながら店の前に貼ってあるバイト募集の貼り紙をメモして電話するという事をしました。ラーメン屋の面接に行くと落ちて、もう1つラーメン屋に面接に行くと、自分は薬物依存症で今岐阜ダルクに入所している事、腕にくまのブーさんの入れ墨がある事、生活保護を受けている事、夜はNAがあるのでシフトには入れない事などを伝えた上で受け入れてもらい、ラーメン屋のバイトを与えられました。

正直僕は、ラーメン屋などの飲食店のホールはやったことがないし絶対に嫌な仕事でしたが、それをやってみるのが逆説のプログラムなので今やっています。

人間関係を作るのが苦手な僕は、最初バイト先の人と全く会話しませんでした。それでは人間関係を築けないし過去の生き方だと思い、自分の興味のない事でも会話に加わる事やってみたり、質問をしてみたり、人間関係を作る練習をしています。洗い物ひとつにしても自分のやり方、自分の順番でやりたいのですが、自分のやり方を手放し教えてもらった通りのやり方でやったり、バイトに行く道で祈りながらバイトに行っています。

今は、生活保護を切る事、自分で貯めたお金で海外のNAに参加する事、車の運転免許を取る事、自立して自分で生活していく事を目標に、週に3回ですがアルバイトに行っています。

たまにアルバイトもプログラムだという事を忘れてしまっていますが、先行く仲間に相談をしたりミーティングで話したりしながら、バイトが休みの時はダルクのプログラムを受け休みなく毎日生活をしています。

ありがとうございました。



ちさこ

依存症のちさこです

岐阜ダルクにつながって2年がたちました。昨年の4月から施設の手伝いをしていましたが、12月に外でバイトをしてみたらどうかという提案ができました。その日のプログラム中一人でハローワークの求人を見に行きました。あとはコンビニなどへ行って求人が出ていないか聞いたりして軒か面接に行きました。行くたびに岐阜ダルクの説明をしました。中々バイトは決まりませんでしたが、ハローワークで紹介状を出してもらったうどん屋さんに行くことが決まりました。

従業員が何人もいるところで働くのは初めてです。曜日ごとで人が違ったり時間になると人が増えたりして、そのたびにあいさつしたり話しかけられたりすることも苦手ですが、とにかく仕事の手順をメモしながらやります。

施設にもどってもメモをとってばかりです。なかなか習慣にできなくて何もせずにぼーっとしてしまったり、ちょっとずつその日の予定を確認したり、いつまでにやらなければならないのかとか、メモが整理できなかったりしてちょっとずついきづまっています。困ったらすぐに聞いた方がいいと思っています、タイミングをのがして結局放置していることが多いです。相談するのも習慣にないのでまだ相談しづらいです。

なにをするのにも頭がぐるぐるです。時間がかかりそうですがゆっくりと回復していきたいです。



回復を支える家族

施設長 遠山香

私の薬物依存症の回復が始まったのは、今から17年前のことです。

薬物依存症者本人はNAと言う自助グループに通いますが、薬物依存症と関わる家族や友人などが通うためのナラノンという自助グループがあることを知りました。父には「ナラノンに行ってほしい」と願っていました。

当時一人で子育てしていた私は、ダルクやNAに通うと、子供との時間がほとんど取れなかったことで、こんなことでいいのかと不安でいっぱいでした。ダルクのスタッフに「子供達のことは両親にお願いをして今は回復プログラムを優先する方がよい。」と言われたので、子供達の事をお願いしたいと両親に頼みました。母親だったら子供達の事を先にきちんとしろと言われるのかと思いましたが、私の回復を優先して「納得するまでやってみろ」と言ってくれました。岐阜から名古屋まで通うのに、朝早く家を出て帰宅するのは10時近くになるため、留守番をしてくれたり母が夕食を作って持ってきてくれるなど助けてもらうことで、安心して自分の回復に専念することができたのです。

薬物依存症者の回復を支える家族は、本人が仕事や家族の事をきちんとする事が回復だと思っていることが多いのですが、本人はまだやめる気がないのにも関わらず、自分の思い通りにならないことからますます本人をなんとかしようと思死になり混乱していきいます。ダルクに来られた多くの家族がこの状態に陥っています。

ある家族の方もそうでした。様々な所に相談してまわったようでしたがいっこうに解決のめどが立たず、岐阜ダルクに相談に来られました。

相談に来られた当初は、本人の行動に巻き込まれて追い詰められた状態になっていました。話を聞くと本人が困っているというよりはおかささんが困っているということが見えたので、「ナラノンという自助グループ行ってみたらどうですか」と伝えたと、行き始めました。

始めのうちは本人の様子に一喜一憂して、ダルクに度々電話がありましたが、ナラノンに通い続けているうちに落ち着きと笑顔を取り戻し、ダルクへの相談も減っていききました。

薬をやめるかやめないかを決めるのは本人が決めることで、家族が決めることはできないのです。結果として私の両親はナラノンに繋がることはありませんでしたが、本人の回復は本人にまかせることを優先してくれたのです。回復にはとても時間がかかるため、気長に回復を支えてくれた両親の手助けがあったからこそ今こうして元気に生きていられるとつくづく実感しています。私のようなケースは希なことです。

本気でやめたいと思っていない当事者をなんとかしようとするのが共依存という症状なので、そこから家族も回復するために、ナラノンのプログラムが必要だと思います。

家族がナラノンに繋がるのが本人の回復を支えることにとても重要なことなのです。

岐阜ダルクの家族会「ステップス」はナラノンにつなげることを目的として、2年前から毎月2回各務原病院のケースワーカーの方のご協力を得て行っています。ナラノンに繋がって笑顔を取り戻す方がますます増えていくことを願っています。



※家族会「ステップス」の様子

活動報告

2月

- 28 群馬ダルクフォーラム参加
フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 30 レクリエーション(覚王山散策)
- 31 岐阜地区薬物乱用防止研修会講演



春

わおん。
ステップだわん。
みなさんこんにちわん。

- 3 各種原病院メッセージ
- 4 薬物電話相談日
- 8 各種原病院メッセージ
- 9 薬物電話相談日
- 9 岐阜東教区普通布教講習会講話、ヨーガ
- 11 九州ダルクフォーラム参加
- 11 薬物電話相談日
- 12 岐阜ダルク家族会
- 13 ダルク後援会
- 14 笠松刑務所薬物離脱指導
- 15 数橋刑務所職員研修受け入れ
- 16 ヨーガ 17 陶芸教室
- 18 徳島ダルクフォーラム参加
- 18 薬物電話相談日
- 19 カトリック大垣教会にて活動紹介
- 20 南山高校・男子部講演
- 21 名古屋陶磁所職員研修受け入れ
- 25 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 26 カトリック刈谷教会にて活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 27 岡崎医療刑務所職員研修受け入れ
- 28 各種原病院ケア会議

3月

- 1-2 豆の木ネット研修会参加
- 3 レクリエーション(東山動物園)
- 4 薬物電話相談日
- 5 各種原シティーマラソン参加
- 7 笠松刑務所薬物離脱指導
- 8 笠松刑務所薬物離脱指導
- 9 ヨーガ
- 10 依存症拠点機関事業シンポジウム
- 11 薬物電話相談日
- 12 岐阜ダルク家族会
- 13 岐阜ルーテル教会ワーク、ダルク後援会
- 16 依存症に関する家族教室
- 17 各種原病院メッセージ、陶芸教室
- 18 薬物電話相談日
- 19 日本キリスト改革派大垣教会にて活動紹介
- 21 笠松刑務所薬物離脱指導
- 23 ヨーガ
- 25 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 26 アガベチャータン壺造りチャペルにて活動紹介、岐阜ダルク家族会

4月

- 1 NA花見フェロロシップ参加
- 薬物電話相談日
- 5 笠松刑務所薬物離脱指導
- ヨーガ 8 薬物電話相談日
- 9 ピックアップスタディ(AA)参加
- 岐阜ダルク家族会
- 11 ニュースレター発送作業

覚王山アパートにて…
「プログラムで、こんなもの
作ってみたいね」などと言
いながら色々なお店を散策し
ました。
買わなくても、見て楽しむこ
とができるようになるとい
いねと、スタッフと話しまし
た。

1/30 レクリエーション(覚王山散策)



3/3 レクリエーション(東山動物園)



◎ゴリラのシャバーニがすごいかっこ
よかった☆
最後に乗ったジェットコースターも
テンションMAXになった!!
あつという間に時間がきちゃっても
といたいと思った☆
この歳になってこんなに盛り上がる
とは、思ってもなかった。

あやか

◎私は、東山動物園には、よく行って
いたのですが、冬の動物園は、初めて
行きました。季節により動物は、ちがう
動きをしている事に気づきました。見
ていたより象のサクラが、大きくな
っていたので、びっくりしました。 ふくちゃん

3/5 各務原シティーマラソン参加



◎初めてハーフマラソンに出ました。ダルクに入って4ヶ月、
走るのがすごく楽しくなって走る前から泣いちゃいました…
でも走り切れました!!ゴールで仲間が待っていてくれて、それを見て大
喜泣!!もう本当に感動しました。これからも、もっと色々な事に挑戦して
いきたいです。感謝です。 あい

◎ベストを尽くして2時間07秒で完走!!
初挑戦の仲間達の姿にも感動し、涙していた私。思い出に残りました。
感謝です。 ケイコ

◎人生初踏めずに最後まで10km走りきった!!
ゴールした瞬間のあのなんともいえない感じ、やみつきになりそう。
あやか

料理プログラム



毎週1回お昼ごはんを皆で作
ります。この日のメニューはスコ
ッチエッグにサラダ、スープで
した。



陶芸プログラム



ボランティアで栄養士の先生に来ていただいています。
メニューのバランスや彩りなど、一緒に作りながら、アド
バイスを頂いています。
皆で楽しく食事をした後、午後からの運動プログラムに
栄養士の先生も一緒に歩いてくれる事が多くなりました。
感謝

2/20 南山高校・男子部講演



「高校生が薬物に手を出さないためのお話」が
テーマで自分の体験談を話させて頂きました。
400人の男子生徒の前で、緊張しましたが、自分の話
をする事ができました。 まさひろ。

2/9 岐阜東教区普通布教講習会講話



臨済妙心寺派 岐阜東教区第3部で集まりがありました。
薬物依存症の体験談とダルクの活動について話をさせて頂き
ました。
岐阜県内の様々なお寺でこの様な活動をさせて頂く機会を作
って欲しいとお願いをしました。

2/11 九州ダルクフォーラム参加



九州ダルクフォーラムは、とても新鮮でした。
フォーラムでもNAミーティングでも、回復のメッセ
ージをもらって帰りました。
ありがとうございました。 ちさこ

2/18 徳島ダルクフォーラム参加



初めて他のダルクフォーラムに参加しました。
アディクトの回復のための活動が広がっていく
といいなあと思いました。 マコ

活動予定

2月

- 12 各種原病院メッセージ
- ヨーガ 14 陶芸教室
- 23 清流ハーフマラソン参加
- 友愛キリスト教会にて活
動紹介、岐阜ダルク家族会
- 薬物電話相談日 12,15,22

3月

- 11 ヨーガ
- 14 カトリック岐阜教会チャペルコ
ンサート
- 25 ヨーガ 26 陶芸教室
- 28 岐阜ダルク家族会
- 薬物電話相談日 6,10,13,20,27

6月

- 11 岐阜ダルクミニフォーラム
in(1)見付)23 陶芸教室
- 25 岐阜ダルク家族会
- 薬物電話相談日 3,10,14,17,24

7月

- 7 聖カピタニオ女子高等学校講演
- 9 岐阜ダルク家族会
- 20~23 NAコンベンション参加
(大阪)
- 23 岐阜ダルク家族会
- 薬物電話相談日 1,8,12,15,22

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名(平成29年1月8日～3月29日) 敬称略

関キリスト教会の皆様 笠松キリスト教会の皆様 羽島キリスト教会の皆様 カトリック大垣教会の皆様
カトリック刈谷教会の皆様 日本キリスト改革派・大垣教会の皆様 アガペチャーチ瑞浪チャペルの皆様
山田慶子 池田時造 田口大輔 堀尾佳広 北谷雅春 前田功 中道美保子 小山寺・中西東峰
伊藤直美 加藤洋子 木下容子 福岡和男 中堀義広 光楽英生 服部正博 有限会社・加藤損害
生命保険事務所 檜田邦自動車株式会社 カトリック江南教会 勇昭代 平林幸子 森弘子 酒井啓道
堀田宏之 弁護士・神谷慎一 永嶋恵美 石川恭二 尾関貴代美 鈴木信行 普久原朝経 藤井利也
弁護士・山科正太郎 多治見保護区保護司会・会長・谷敏 笠松キリスト教会教会員・北島あずさ 村
松宏幸 河合潔 伊佐地金嗣 小島浩一 不破ノ関病院・院長・岩戸敏廣 青井初恵 聖泉キリスト教
会 (宗)カトリック神言修道会・多治見教会 水野滋子 鹿苑寺・高林玄宜 橋爪タツ子 野口教子
清水宗夫 カトリック小牧教会 岐阜キリスト教会 日本福音ルーテル大垣教会・教会学校 弁護士・
杉本隆 カトリック大垣教会 公益財団法人・名古屋YWCA 阿部賢彦 成井尋江 吉田和郎 鶴飼
芳恵 サンリ治療院・舟橋寛延 日比野良子 岐阜純福音大森チャーチ 養清興業株式会社 (株)サ
ルビア・追立涼子 カトリック名古屋教区・社会福祉委員会 匿名者多数

献品者名(平成29年1月8日～3月29日) 敬称略

清水由子 木下容子 株式会社・不破 神の愛の宣教会 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※昨年開所した Step house ですが、事業の見通しが確かなものではなかったため、高額な自動火災報知機が必要ではない現在の場所に開設して1年が過ぎました。しかし、利用者が増えてきたことから、もう少し広い場所が必要だと考えています。空いている上の階の広い場所を大家さんが格安で貸して下さるとのことですが、そこにはやはり自動火災報知機をつけなければならない状況です。お願いばかりで本当に心苦しい思いですが、ご支援いただきますようお願い致します。

岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※Step houseの新しい電話をひきました。TEL:058-201-3555

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-201-3555)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
岐阜ダルク 〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922
Step house 〒500-8864 岐阜市真砂町11-12 不破ビル2階 携帯 080-3668-6922
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>
2017年 岐阜ダルクニュースレター平成29年春号(No.60)
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

